

| |
|---------|
| 近畿地方整備局 |
| 資料配布 |

| | |
|------|------------------------|
| 配布日時 | 平成16年 7月 2日 11時 00分 |
|------|------------------------|

| | |
|----|------------------------------------------------------------------------------|
| 件名 | 「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産登録されました。 近畿地方整備局では世界遺産を活かした地域づくりに向けて、様々な取り組みを行ってまいります！！ |
|----|------------------------------------------------------------------------------|

| | | | | | | | |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------|------|-------------|-----------|-------------|
| 概要 | <p>平成16年7月1日をもって「紀伊山地の霊場と参詣道」が、中国・江蘇省江州市で平成16年6月28日から開催されている第28回世界遺産委員会において世界文化遺産に新規登録されました。</p> <p>近畿地方整備局では、これまでも世界遺産登録地域の地域活性化に向けて様々な取り組みを行ってきましたが、今般の世界遺産の登録を契機に、同地域の魅力をより一層引き出し、地域内外の人との交流と地域の活性化に向けて、以下のような取り組みを行っていくこととしています。</p> <p>◆近畿地方整備局本局の取り組み</p> <p>1) PRパンフレットの作成</p> <p>冊子『紀伊半島のみちとまちなみ』を作成しました。これは、古代より熊野三山を詣でた「熊野古道」を中心に紀伊半島エリアを紹介したもので、近畿地方整備局監修のもと、歴史街道推進協議会で発行しています。また、今後、世界遺産地域の魅力を広く紹介するためのパンフレットを作成します。</p> <p>2) 世界遺産登録記念式典の開催</p> <p>三重県・奈良県・和歌山県と共同で9月19日(日)熊野本宮大社旧社地大斎原にて記念式典『森羅万象～紀伊山地からの祈り～』を開催します。</p> <table border="0"> <tr> <td>交流イベント</td> <td>13:00～20:30</td> </tr> <tr> <td>記念式典</td> <td>13:00～18:00</td> </tr> <tr> <td>メモリアルイベント</td> <td>19:00～20:30</td> </tr> </table> <p>◆地元事務所の取り組み</p> <p>3) 和歌山河川国道事務所、紀南河川国道事務所、和歌山港湾事務所及び奈良国道事務所においては、地元自治体と連携した、世界遺産地域にふさわしい川・道の景観づくり、情報発信等様々な取り組みを行うこととしています。</p> <p>また、奈良国道事務所においては、歴史的意義を踏まえた『吉野楽講座』を開催しています。</p> | 交流イベント | 13:00～20:30 | 記念式典 | 13:00～18:00 | メモリアルイベント | 19:00～20:30 |
| 交流イベント | 13:00～20:30 | | | | | | |
| 記念式典 | 13:00～18:00 | | | | | | |
| メモリアルイベント | 19:00～20:30 | | | | | | |

「紀伊山地の霊場と参詣道」

世界遺産登録記念三県共同行事

～森羅万唱～紀伊山地からの祈り～

| | | | |
|---|---|----------------------------------------------|-------------|
| 日 | 時 | 2004年9月19日(日) | 13:00～20:30 |
| | | 交流イベント | 13:00～18:00 |
| | | 記念式典 | 18:00～19:00 |
| | | 記念ステージ | 19:00～20:30 |
| 場 | 所 | 和歌山県本宮町 | |
| | | 熊野本宮大社旧社地 ^{おおゆのはら} 大斎原及び本宮町山村開発センター | |
| 主 | 催 | 「森羅万唱～紀伊山地からの祈り」実行委員会 (三重県、奈良県、和歌山県) | |
| 後 | 援 | 国土交通省近畿地方整備局 | |

開催趣旨

古くより神々の鎮まる特別な地とされてきた紀伊山地、「吉野・大峯」、「熊野三山」、「高野山」と、「大峯奥駈道」、「熊野参詣道(中辺路、小辺路、大辺路、伊勢路)」、「高野山町石道」などが、このたび世界遺産に登録されました。

地域の人々が登録を祝い、時と共に重ねられた祈りの場所と心の道「紀伊山地の霊場と参詣道」の自然と景観を、未来に守り伝えていく、新たな決意の機会として、関係三県が主催して記念イベントを実施します。なお、このイベントは参加者全員で世界遺産を守っていく決意をあらわすため、チャリティの考え方を導入し、収益はユネスコのワールド・ヘリテッジ・ファンドに寄付いたします。

「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産指定を受けて

～ 和歌山河川国道事務所
紀南河川国道事務所
和歌山港湾事務所の取り組み～

「紀伊山地の霊場と参詣道」がこのたび世界遺産に登録されました。

和歌山・紀南河川国道事務所では、今までも地域と一体となって、紀の国を快適にする川・道づくりに努めていますが、さらに世界遺産の指定を契機に、世界遺産の魅力を引き出し、地域内外の人との交流と地域の活力を生み出すことを目指して、3つの柱をすえ、以下のとおり取り組んでいくこととしています。

1. 世界遺産地域にふさわしい川・道の景観づくり

熊野川が「川の参詣道」に指定されるとともに、大辺路ルートが国道42号とほぼ並行しています。

そこで、世界遺産にふさわしい河川や国道の修景整備を行うとともに、参詣道の復元整備も実施します。

2. 地域の魅力を、広く・わかりやすく伝える情報の提供

世界遺産を現地や京阪神地域等でわかりやすく情報提供していきます。メディア、道の駅等を活用した情報提供や、案内標識の充実に努めていきます。

また、職員一人一人が地域を知り、案内できる「語り部」として養成します。

3. 世界遺産を守り・活かす地域の取り組み育成と連携の強化

世界遺産を守り・活かしていくためには、地域住民・NPO等の参加と連携による推進が大切であり、そのネットワークづくりを支援していきます。

川と道が結ぶ 世界遺産と人・まち・自然

美・歴史・風土を感じさせる川辺・道筋が、世界遺産の魅力を引き出し、
地域内外の人の交流と地域の活力を生み出すことをめざす

1. 世界遺産地域にふさわしい川・道の景観づくり

(1) 国道・沿道の修景整備

- ・24号「道の駅 紀の川万葉の里」に、「高野山町石道」「小辺路」参詣道への玄関口として世界遺産地域にふさわしい整備（案内板、植栽等）
- ・木製（紀州材）を使った歩道防護柵の設置（国道24号橋本市内）

2. 地域の魅力を、広く・わかりやすく伝える情報の提供

(1) 世界遺産を現地で知らせる案内標識整備

- ・「高野山町石道（丹生都比売神社、慈尊院、丹生官省符神社）」の参詣道案内標識を設置（国道24号かつらぎ町、高野口町）

(2) 道の駅での世界遺産情報の提供

- ・24号「道の駅 紀の川万葉の里」でPRパネルの展示、タッチパネルを利用した紹介、パンフレットの配布
紀伊半島の玄関口として、「ひと、モノ、情報」を発信する

(3) パンフレット等の作成（紀南河川国道事務所と共同実施。下記は和歌山河川国道事務所実施分）

- ・「紀伊山地の霊場と参詣道」の大自然と信仰の道を紹介したパンフレットを作成（近畿管内の「道の駅」59箇所、「歴史街道iセンター」26箇所をはじめ、市町村等に配布）
- ・世界文化遺産地域に至る紀の川・紀北地域の観光支援として、「トイレマップ（車いす用）」を作成
- ・世界遺産シンボルマーク付き名刺、封筒等の作成
- ・シリーズ「神坂次郎の紀伊半島再発見」の世界遺産登録特集号を発刊する（既刊は、ホームページで公開中。1～5巻をセットにして公立図書館15館と小中高校303校に寄贈）

(4) メディアを活用した世界遺産と道のPR

- ・TV広報にて、和歌山から高野山に至る、ひと、まち、みちの関わりを再発見的に紹介
- ・ラジオ広報にて、紀北地域～小辺路、高野山町石道を中心とした道の魅力を紹介

3. 世界遺産を守り・活かす地域の取り組み育成と連携の強化

(1) 地域関係主体のネットワークづくり

- ・地域の意見を吸い上げられるネットワークづくり

(2) 道路ふれあい月間（8月）の取り組みの支援

- ・「道の駅 紀の川万葉の里」にて、道路ふれあい月間（8月）中に世界文化遺産を支援する催しを開催（一般募集による写真展）
- ・世界文化遺産地域にふさわしい「まちづくり」を目指し、地域住民の方々の協力を得て、県下一斉の道路ゴミ清掃を実施

(3) 「川・道」の魅力発見

- ・世界文化遺産に関連する、紀北地域、高野山町石道、小辺路などの写真を一般募集

神坂次郎の紀伊半島再発見！

▼連載はこちら

第一巻

- ・第一話 三年坂の算術
- ・第二話 びっくり川と神職峠
- ・第三話 かけづくり丁のさむらい長屋
- ・第四話 平家物語の里
- ・第五話 紀伊大納言治室の養翠園
- ・第六話 二十一世紀の夜明けを告げる鐘
- ・第七話 全国鈴木姓の繪本家
- ・第八話 日本のハムレット
- ・第九話 紀三井寺の桜
- ・第十話 加太の流し鐘
- ・第十一話 蓮成寺の鐘供養
- ・第十二話 中將姫会式
- ・第十三話 日本一のミニ鉄道
- ・第十四話 千鳥の句碑
- ・第十五話 ふるさとの地名を歩く

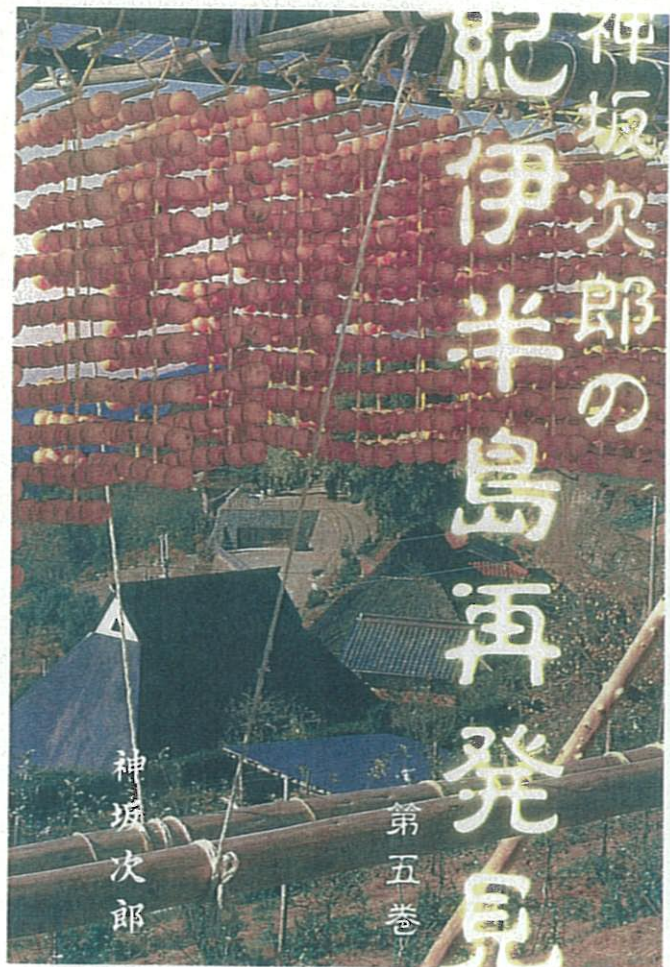
第三巻

- ・第三十一話 けったいな茶の湯
- ・第三十二話 遠い日の喇叭
- ・第三十三話 異邦人 徐福
- ・第三十四話 ふるさとの地名を歩く
- ・第三十五話 かなしい清姫
- ・第三十六話 箸折峠の半馬童子
- ・第三十七話 旅の西行
- ・第三十八話 熊野の皆地笠
- ・第三十九話 代官 望月太左衛門の切腹
- ・第四十話 和佐大八郎の弓
- ・第四十一話 万葉人の渡り場
- ・第四十二話 紀州藩道徳教育の教科書「父母状」
- ・第四十三話 殿様たちの眠る寺
- ・第四十四話 白鳥女房
- ・第四十五話 ふるさとの地名を歩く



第五巻

- ・第六十一話 日本最古の義歯
- ・第六十二話 クマダスの熊野墨汁
- ・第六十三話 世界一の鯨博物館
- ・第六十四話 水利土木の鬼才
- ・第六十五話 なれずし誕生
- ・第六十六話 和歌山城内の三宝柑
- ・第六十七話 いろは歌
- ・第六十八話 枯木灘のケンケン船
- ・第六十九話 走れ乗合馬車
- ・第七十話 南高梅 登場
- ・第七十一話 元祖 浪花節
- ・第七十二話 ナショナルトラスト運動の先駆け 天神峠
- ・第七十三話 高野豆腐
- ・第七十四話 熊野川のプロペラ船
- ・第七十五話 空を飛ぶ船



川と道が結ぶ 世界遺産と人・まち・自然

美・歴史・風土を感じさせる川辺・道筋が、世界遺産の魅力を引き出し、
地域内外の人の交流と地域の活力を生み出すことをめざす

1. 世界遺産地域にふさわしい川・道の景観づくり

(1) 河川の修景整備

- ・「川の参詣道熊野川」を連想できる堤防の景観設計
- ・河川施設の景観対策

(2) 国道・沿道の修景整備

- ・42号歩道（新宮市内）の「熊野の都・新宮」にふさわしい整備（熊野文化モニュメント、熊野古道近世ルート、案内板、植栽等）
- ・世界遺産案内標識支柱を世界遺産と調和のとれたものに整備
- ・車両用防護柵のカラーガードレール化、木製（紀州材）歩道防護柵の設置
- ・事務所の入り口壁面の修景

(3) 参詣道の復元整備

- ・「馬転坂」参詣道の復元

2. 地域の魅力を、広く・わかりやすく伝える情報の提供

(1) 世界遺産を現地で知らせる案内標識整備

- ・「大辺路（富田坂・長井坂等）」の参詣道案内標識を設置

(2) 道の駅での世界遺産情報の提供

- ・「道の駅」でタッチパネルを利用した世界遺産の紹介

(3) パンフレット等の作成

- ・「紀伊山地の霊場と参詣道」を紹介したパンフレット「紀伊半島の魅力」を京阪神インフォメーションセンター等で配布
- ・国道42号と熊野古道、名所、旧跡を表したパンフレットの作成・配布
- ・世界遺産シンボルマーク付き名刺、封筒等の作成

(4) メディアを活用した世界遺産と道のPR

- ・TV広報で、語り部による大辺路ルートを紹介
- ・ラジオ広報で、南部町から新宮市までの地域の魅力を歩きながら紹介
- ・語り部・草刈り隊・おかみの会等地域の活動家に上空から見てもらい自分たちの地域を再発見してもらう

(5) 職員の情報提供能力の育成

- ・事務所職員の熊野古道「語り部」育成

地域住民・NPO等の参加と連携による推進

3. 世界遺産を守り・活かす地域の取り組み育成と連携の強化

(1) 地域関係主体のネットワークづくり

- ・熊野川懇談会の設立
- ・地域の意見を吸い上げられるネットワークづくり

(2) 三県共同の取り組みの支援

- ・三県合同世界遺産登録記念行事（H16年9月本宮町）への支援

(3) 「川のみち」熊野川の魅力発見

- ・「全国川サミット in 十津川」（H16年10月）で「熊野川研究発表会」を実施
- ・河川愛護月間に向けて、熊野川のロゴやイラスト、写真を募集

イメージ図
(カラーガードレール化、歩道柵に紀州材の活用)



完成予想図



現状

世界遺産の登録に向けての奈良国道事務所の取り組み

○奈良県主催の世界遺産登録記念フェスタ実行委員会へ参加。

○吉野楽講座の開催

①目的 「紀伊山地の霊場と参詣道」が奈良県で3番目に世界遺産に登録されようとしているので、「世界遺産」の登録の意義を踏まえ「日本の心、道と歴史と文化」をテーマに開催している。

現在、第三章まで開催済み。

秋以降に、第四章・第五章の開催を予定している。

②開催結果

- ・第一章 参加人数120人
場所 奈良県吉野町 吉野山ビジターセンター
サブテーマ {吉野山への道、世界遺産登録に向けて}
- ・第二章 参加人数300人
場所 奈良市・奈良女子大学「記念館」(重要文化財)
サブテーマ {奈良・吉野 ころろ通う世界遺産への道}
- ・第三章 参加人数200人
場所 奈良県天川村・天河大辨財天社
サブテーマ {芸能と聖地・吉野}

③メディアの活用

NHKFMラジオ(奈良県域)において、

第二章 平成16年6月29日 18時から18時50分

第三章 平成16年6月30日 18時から18時50分

放送済み。

吉野楽講座

日本の心、道と歴史と文化

「紀伊山地の霊場と参詣道」
…奈良県内で三番目の世界遺産が誕生します。

吉野楽講座でその「道」と「ところ」にふれてみませんか

「道」は私たちの思い、その思いが作り上げ、育てていった私たちの文化について「道」を通してもう一度考えてみたいと思います。まずは、吉野楽講座 開講式を催します。

吉野楽講座 第一章

日時 平成16年3月30日(火)
時間 14:00~16:00(13:00開場)
場所 吉野山ビジターセンター 会場へは公共の交通機関をご利用下さい。
(吉野山ロープウェイ吉野山駅徒歩約15分)

「吉野山への道 世界遺産登録に向けて」

コーディネーター 高田加寿子 (関西府県建設 総務)
パネリスト 田中朝男 (金剛山御祭本宗宗務総長・総本山金剛山寺執行員)
福井良雄 (西野町長・大室山道徳院住持)
宗 舟 (僧侶)

※吉野山楽講座終了後、金剛山寺藏王堂をご案内いたします。(ご希望の方のみ400円必要)

今後も「日本の心、道と歴史と文化」をテーマに吉野楽講座を開催していく予定です。第二章以降につきましては、開催内容が決まり次第ご案内させていただきます。

詳しい申込方法は裏面をご覧ください。

主催:吉野楽講座実行委員会(国土交通省奈良国道事務所・奈良県・奈良市・吉野町・天川村・十津川村)

吉野楽講座

日本の心、道と歴史と文化

「紀伊山地の霊場と参詣道」
…奈良県内で三番目の世界遺産が誕生します。

吉野楽講座でその「道」と「ところ」にふれてみませんか

吉野楽講座 第三章

日時 平成18年6月22日(火)
時間 開場/午後1時30分
開演/午後2時00分~午後4時00分
場所 天川村 天河大辨財神社

参加無料 先着100名

テーマ **「芸能と野地・吉野」**

パネリスト

実行委員会 野島正典 (NHK奈良放送局 番組制作課長)

参加ご希望の方は事前にお申し込みが必要です。お申し込み方法は裏面をご覧ください。

主催:吉野楽講座実行委員会(国土交通省奈良国道事務所・奈良県・奈良市・吉野町・天川村・十津川村) 後援:NHK奈良放送局

吉野楽講座

日本の心、道と歴史と文化

「紀伊山地の霊場と参詣道」
…奈良県内で三番目の世界遺産が誕生します。

吉野楽講座でその「道」と「ところ」にふれてみませんか

吉野楽講座 第二章

日時 平成16年5月24日(月)
時間 開演/午後1時30分
開演/午後2時00分~午後4時00分
場所 奈良女子大学(記念館)

参加無料 先着300名

テーマ **奈良・吉野 ところ通う世界遺産の道 ~語り継がれる「餅飯屋のはなし」より~**

パネリスト

実行委員会 野島正典 (NHK奈良放送局 番組制作課長)

参加ご希望の方は事前にお申し込みが必要です。お申し込み方法は裏面をご覧ください。

第三章以降につきましては、開催内容が決まり次第ご案内させていただきます。

主催:吉野楽講座実行委員会(国土交通省奈良国道事務所・奈良県・奈良市・吉野町・天川村・十津川村) 後援:NHK奈良放送局

